

～熱中症、脱水にご注意ください～

気温が上がり「脱水」が心配な季節になってきました。高齢者やこどもは脱水の症状に気が付きにくく、診断が遅れがちになる恐れがあります。周りの人が気を付けることで防ぐことができます。

気を付けるポイント

- ①口の中が乾燥している。
- ②舌の表面に亀裂がある。
- ③皮膚に張りがない。
- ④手足が冷たくなっている。
- ⑤食事量が減っている。
- ⑥何となく元気がない。

主にこのような症状があれば、「脱水」が疑われます。まめに水分を摂り、エアコンを適切な室温に設定しましょう。

- ※ 1日の水分量は大人で1500cc程度です。
- ※ 水分制限のある方は主治医の指示に従ってください。



かわら版

7月号



8月の予定

- ◎8月 7日(水) 潟東垣和会(踊り)
- ◎8月 9日(金) 巻婦人会(踊り)
- ◎8月20日(火) 中之口生き生きクラブ(歌)
- ◎8月21日(水) 巻ハーモニカクラブ
- ◎8月29日(木) こはく会(民謡)

～～お楽しみに♪～～

～デイサービスからのお願い～

- デイサービスでのお昼寝の際に、ベッドの数が足りずご迷惑をお掛けしています。ベッドの数には限りがありますので、看護師の判断で優先順とさせて頂きたいと思っております。ご自宅でベッドを使用している方でも昼スペースでのお昼寝となる場合もありますので、よろしくお願い致します。
- 体調不良や皮膚のトラブルなど変化がある場合はお知らせ下さい。ご利用者様同士の感染防止にご協力願います。
- 最新のお薬情報をお持ち下さい。コピーしてお返しします。また受診後にお薬が変更になった場合もお持ち下さい。



活 動

目次

1. 皆さまの活動
2. ちょっとお耳を拝借
3. 芸・ご披露
4. 再度熱中症について
5. 8月の予定とお願い



皆 様 の



老人デイサービスセンター巻
新潟市西蒲区巻甲4363番地
TEL 0256-73-4033

●ちょっとお耳を拝借●

認知症実践者研修を受けて…



6月17日より2か月間、新潟市主催の認知症実践者研修を受けさせてもらっています。

この研修は、認知症の障がいを持つ人たちとの関わり方、その方達の気持ちの理解、権利擁護、その方達を支援する際にその方の生きてきた歴史などの情報を得る事の大切さを学んでいます。

(センター長の増井、相談員の千原はすでに研修が終わっています。)

デイサービスセンター巻では今後も、認知症の障がいを持って、安心して楽しめる場所になっていくにはどうしたら良いかを、職員会議の場で話し合いをしました。

昔は痴ほうとかボケなどと差別的な言い方がされてきましたが、今は「認知症」という病名になっています。

2025年、75歳以上の後期高齢者が新潟市で142,245名、認知症高齢者が35,680名になると言われています。

もしも自分が認知症になってしまったら、家族に、デイサービスの職員に、近所の人に、友達にどのように接して欲しいかを考えると、接し方が簡単に分かり、認知症になっても住み慣れた町で暮らしていくには、どんな町にしていけば良いのかを真剣に考えていかなければなりません。

認知症の障がいを持つ人とその家族を応援する「認知症サポーター」が、新潟市では平成31年3月末で、64,235人になりました。

サポーターが今後も増えるようにと願うと同時に、私たち職員も認知症という病気をよりよく理解し、その方やご家族のお手伝いをしていきたいと思えます。

デイサービスセンター巻
生活相談員 養田



柿の会様

こはく会様

民謡や踊り、歌謡曲など
芸達者の皆さんが来て下さっています

